事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0028
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西　健次
所属　1130　市民部自治協働課　記入者　山本　裕子
事務事業番号　00254　防犯推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	001　防犯活動の強化				
事務事業	060　防犯推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市生活安全条例、大津市暴力団排除条例、補助金等交付規則				
事業概要	（事業概要） 市民が安心して生活することができる安全な地域社会を実現するため、防犯に関する意識の啓発及び自主的な防犯活動に対する支援を行うことにより、市民の防犯意識を高めるとともに、地域での見守り強化を図る。 また、安全で安心なまちづくりに関する警察との連携協定に基づく取組の推進や関係機関との連携を強化することで犯罪の防止に取り組み、犯罪のないまちを目指す。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 刑法犯罪認知件数は、減少傾向が続いていたが、令和３年から増加に転じており、近年は、特殊詐欺の他にＳＮＳを悪用した投資詐欺やロマンス詐欺による被害が拡大し深刻化している。また、防犯カメラの設置が事件・事故の抑止や早期解決の有効な手段としても活用されておりニーズが増している。 （見直しや改善等の経過） 令和３年１月に「大津市と大津警察署及び大津北警察署との安全で安心なまちづくりに関する協定」を締結。毎年度、警察との政策協議を行い、現状や課題を確認しながら、防犯対策に連携して取り組んでいる。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、大津市防犯協会、自主防犯活動団体などを対象に
目的(何のために)	市民の防犯意識を高め、地域の防犯力向上を目的として
手段(どのようなやり方で)	警察等の関係機関と連携した啓発活動の展開や、自主防犯活動団体の活動支援等をすることで
成果(どのような状態にするのか)	犯罪を未然に防止し、誰もが安心して暮らすことの出来るまちにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	27,247	30,032	28,395	31,629	31,629	31,629	31,629
事業費	14,253	15,040	15,095	18,329	18,329	18,329	18,329
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	2,364	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	347	0	0	1,268	1,268	1,268	1,268
一般財源	13,906	15,040	12,731	17,061	17,061	17,061	17,061
人件費計	12,994	14,992	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
事務・技術（人）	1.03	1.39	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.24	0.88	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0028
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00254　防犯推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-01-00	防犯推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00 34.00	36.00 33.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
(成果)人口１万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	44.00 57.20	57.20 63.00	57.20 0.00	57.10 0.00	57.10 0.00	57.10 0.00	57.10 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域や関係機関が相互に連携し幅広い活動ができている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	犯罪認知件数が増加傾向にあるため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の実状に応じた自主防犯活動支援に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	防犯意識を高める啓発等が生活安全の推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	自主防犯活動団体等への支援や地域での防犯カメラ設置にかかる補助等を行い、地域の防犯力強化に努めている。また、市内の防犯活動においては、警察、地域、行政が連携しながら進めている。一方で、近年は特殊詐欺が増加している。指標としている刑法犯罪認知件数も増加していることから、更に警察、地域団体との連携を図り、市民への情報発信や啓発等に努めるなど、今後も犯罪の未然防止に注力していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	特殊詐欺被害が増加しており、被害内容も深刻化している。そのため、警察、地域団体と更に連携しながら、防犯に対する機運醸成及び、防犯カメラ設置補助等の環境整備に引き続き取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00254　防犯推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)自主防犯活動組織の設立件数	団体	36.00 34.00	36.00 33.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例に基づく防犯組織						
(成果)人口１万人あたりの刑法犯罪認知件数	件	44.00 57.20	57.20 63.00	57.20 0.00	57.10 0.00	57.10 0.00	57.10 0.00	57.10 0.00
	指標説明	１～１２月の市内における人口１万人あたりの　犯罪発生（認知）の件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0029
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西　健次
所属　1130　市民部自治協働課　記入者　山本　裕子
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします			
施策	021	安心して暮らせるまちづくりの推進			
取組の方向性	002	交通安全の推進			
事務事業	001	交通安全推進事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	交通安全対策基本法				
事業概要	（事業概要） 警察、交通安全協会等の関係機関と連携した全国交通安全運動、交通安全県民運動、近江路交通マナーアップ運動に加え、市独自の「ゆりかもめ運動」等の啓発活動を実施するとともに、未就学児やその保護者等に交通安全教室を実施し、交通安全意識の高揚につなげる。 また、交通安全協会、水上安全協会の活動に対する財政的支援により、啓発活動の効果を高める。 さらに、令和４年４月施行の大津市交通安全基金を活用し、事業に取り組んでいく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 本市における交通事故件数は、長期的には減少傾向にあるが、近年は横ばいで推移している。交通事故死亡者数については、令和７年は増加し、高齢者が半数を占めている。 （見直しや改善等の経過） 令和４年４月に大津市交通安全条例を施行し、交通安全計画に基づく各種施策を実施している。 令和６年度からは高齢者事故防止のため「高齢者運転免許証自主返納等促進助成事業」を実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、団体及び事業者等を対象に
目的(何のために)	交通事故のない安全・安心な地域社会を実現するために
手段(どのようなやり方で)	啓発活動の実施や交通安全教室の開催、交通安全協会への支援をすることで
成果(どのような状態にするのか)	市民の交通安全意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの向上及び事故防止を推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,054	37,822	41,306	42,372	42,372	42,372	42,372
事業費	17,414	16,534	17,586	18,652	18,652	18,652	18,652
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	11,365	10,953	11,012	12,500	12,500	12,500	12,500
一般財源	6,049	5,581	6,574	6,152	6,152	6,152	6,152
人件費計	20,640	21,288	23,720	23,720	23,720	23,720	23,720
事務・技術（人）	1.60	1.55	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.04	2.02	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0029
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-23-00-05-00	交通安全推進事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00	126.00	126.00	126.00	126.00	126.00	129.00
		118.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00	240.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00
		75.00	87.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)交通事故負傷者数	人	882.00	757.00	741.00	725.00	710.00	695.00	681.00
		804.00	729.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00	4.00	3.00	3.00	2.00	2.00	2.00
		4.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市、市民、警察等の関係機関が相互に連携し取り組んでいる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	負傷者数は減少しているが、死者数が増加傾向にあるため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	警察等と連携し、交通安全基金を活用した各種取組を行っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	交通安全条例に基づく取組を通じて、意識醸成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	交通安全に関する取組については、交通安全教育や様々な機会を通じた啓発活動等を警察や地域等の関係機関と連携しながら実施している。また、高齢者運転免許証自主返納等促進事業は、交通事故減少に繋がるよう、運転に不安を持たれている高齢者の方に免許返納のきっかけとなるよう取組むとともに、子どもを対象とした自転車乗り方教室など、年代や交通手段に応じた取組を進めていく。 令和８年度は、これまでの取組を振り返るとともに、交通事故の現状を踏まえて、第１２次大津市交通安全計画を策定し、「交通事故のない大津」を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	交通事故に関しては、長期的には減少傾向にはあるが、令和７年度は交通事故死亡者数が増加するなど、継続した交通安全対策が必要である。令和８年度は、第１２次大津市交通安全計画を策定していくことから、第１１次計画期間を評価しながら成果と課題を整理し、関係機関と連携して交通安全対策に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00294　交通安全推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)交通安全教室実施回数	回	120.00 118.00	126.00 120.00	126.00 0.00	126.00 0.00	126.00 0.00	126.00 0.00	129.00 0.00
	指標説明	交通安全教室１教室実施で１回						
(活動)街頭啓発従事者数	人	240.00 75.00	240.00 87.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00
	指標説明	街頭啓発活動に従事した人数 Ｒ８～Ｒ１１の目標値を変更。従事者の安全に配慮し、猛暑期及び厳冬期の８月及び１～３月は実施しない						
(成果)交通事故負傷者数	人	882.00 804.00	757.00 729.00	741.00 0.00	725.00 0.00	710.00 0.00	695.00 0.00	681.00 0.00
	指標説明	交通事故負傷者件数とは、「重傷者」と「軽傷者」の合計数 Ｒ８～Ｒ１１の目標値を変更。算定の元となる過去の５年の平均増減率を算定し直した。						
(成果)交通事故死亡者数	人	5.00 4.00	4.00 10.00	3.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	上記事故によって２４時間以内に死亡した者の数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0030
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西　健次
所属　1130　市民部自治協働課　記入者　入口　優
事務事業番号　00614　自治会育成事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	004	つながりを大切にし、共に支え合うまちにします			
施策	010	地域コミュニティの維持・活性化			
取組の方向性	001	地域コミュニティの活性化の支援			
事務事業	004	自治会育成事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市補助金等交付規則及び要綱				
事業概要	（事業概要） 自治会の組織化の促進と育成を図るため、市の広報紙、各種回覧物の配布をはじめとする市政運営の協力及び地域における様々な取り組みや活動に対して報償金を交付している。自治会拠点施設の設置や改造に対しては「ふれあいの家設置事業費補助」や「ふれあい掲示板設置事業費補助」を実施している。また、自治会活動の活性化を目的として「自治会等ふれあいネット導入支援事業」「電子回覧板プラットフォーム」を運用している。市内３６学区で構成される大津市自治連合会に対しては、各学区間の連絡調整や市政運営上の諸施策の協力について助成を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化により、自治会役員の固定化や高齢化による担い手不足が課題となり、自治会加入率が減少している。今後、まちを支える地域活動の基礎単位の団体である自治会の活動が、多様な世代が参加しやすくなるよう環境を調整していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 市からの依頼事項や行政協力委員の見直しをおこない、自治会等地域コミュニティに対する負担軽減に取り組んでいる。また、自治会活動の好事例集の作成や自治会活動のデジタル化に関する研修会の開催により、多様な市民が自治会活動に参加しやすい環境づくりを進めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	自治会、自治会長、学区自治連合会、学区自治連合会長、大津市自治連合会等を対象に
目的（何のために）	自治会活動及び自治連合会活動の活性化を図るために
手段（どのようなやり方で）	地域コミュニティの活性化を目的とした研修会の開催や自治会活動のデジタル化、報償金や補助金による財政的支援及び活動事例の共有等を図ることで
成果（どのような状態にするのか）	地域住民のつながりを大切にし、共に支え合うまちにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	114,982	107,783	124,586	125,029	125,029	125,029	125,029
事業費	102,862	95,263	106,786	107,229	107,229	107,229	107,229
国庫支出金	484	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	150	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,100	14,981	22,604	5,000	5,000	5,000	5,000
一般財源	98,278	80,282	84,032	102,229	102,229	102,229	102,229
人件費計	12,120	12,520	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
事務・技術（人）	1.40	1.40	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0030
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00614　自治会育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-16-00-01-00	自治会育成事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		25.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自治会数	件	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00	725.00
		719.00	713.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)自治会加入率	%	59.02	60.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		50.50	48.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域コミュニティの基盤となる組織の育成や活性化を図っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	加入率は減少しているが自治会活動にて繋がりは大切にされている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	補助金や、研修等の手法は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	自治会等への支援は地域コミュニティの維持・活性化につながる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	自治会拠点施設の設置・改造に対する「ふれあいの家設置事業費補助」や「ふれあい掲示板設置事業費補助」の補助事業及び、「ふれあいネット導入支援事業」により、自治会活動のデジタル化の促進を図っている。自治会加入率が年々低下している現状を踏まえて、今後も自治会活動への支援や多様な世代が自治会活動に参加しやすい環境づくりに取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	ライフスタイルの多様化等により自治会の加入率低下に加え、自治会活動に参加する人も減少や役員等の担い手不足が問題となっている。 自治会活動のニーズを把握しながら、自治会活動の必要性や活動内容の周知・啓発を行うとともに、多様な世代が参加しやすい環境づくりにも取り組んでいく。 また、自治会加入率の低下は、本市の地域コミュニティに影響を及ぼすことから、全庁的に取組を検討していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00614　自治会育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ふれあいの家補助金交付件数	件	15.00 25.00	15.00 14.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	ふれあいの家設置事業費補助金交付件数						
(活動)ふれあい掲示板補助金交付件数	件	12.00 6.00	12.00 6.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	ふれあい掲示板設置事業費補助金交付件数						
(成果)自治会数	件	725.00 719.00	725.00 713.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00	725.00 0.00
	指標説明	市内自治会設置数						
(成果)自治会加入率	%	59.02 50.50	60.00 48.30	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	自治会加入世帯数／住民基本台帳世帯数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0031
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西　健次
所属　1130　市民部自治協働課　記入者　森　勇人
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	004	つながりを大切にし、共に支え合うまちにします			
施策	010	地域コミュニティの維持・活性化			
取組の方向性	001	地域コミュニティの活性化の支援			
事務事業	001	交流（コミュニティ）施設管理運営事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市滋賀里交流センター条例、木戸交流センター条例				
事業概要	（事業概要） 地域コミュニティ施設として、地域住民の親睦を深め、人と人との交流により地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした、滋賀里交流センター、木戸交流センター、堅田なぎさ苑の管理運営事業。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域コミュニティの希薄化が課題となる中、交流施設は地域住民等のふれあいの場として活用されている。利用者数は横ばい状態で推移しているが、様々な活動が実施されている。 （見直しや改善等の経過） 木戸交流センターは指定管理者からの事業提案に基づく利用促進に取り組み、滋賀里交流センターは地域交流施設として地域に運営委託している。堅田なぎさ苑は令和２年度に老朽化に伴う解体を行い、地域交流広場として活用している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域住民、地域コミュニティ活動を対象に
目的(何のために)	地域交流によるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	地域コミュニティの場を提供することで
成果(どのような状態にするのか)	住民の主体的なまちづくり活動が活性化する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,265	11,873	8,604	8,628	8,628	8,628	8,628
事業費	7,463	7,413	6,604	6,628	6,628	6,628	6,628
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	30	69	30	30	30	30	30
一般財源	7,433	7,344	6,574	6,598	6,598	6,598	6,598
人件費計	4,802	4,460	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
事務・技術（人）	0.59	0.53	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0031
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-06-00-25-00	交流（コミュニティ）施設管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)施設利用者数	人	5,300.00	5,300.00	5,670.00	5,670.00	5,670.00	5,670.00	5,670.00
		5,481.00	5,514.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)開館日数	日	570.00	570.00	630.00	630.00	630.00	630.00	630.00
		665.00	650.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一日当たりの利用者数	人	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
		8.24	8.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域コミュニティの維持や地域活動の活性化に繋がるものである			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	利用者数が微増しており活性化に寄与している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の団体や指定管理者により効率的な運営を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域住民の交流の場や活動拠点としての役割を果たしている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	滋賀里交流センター及び堅田なぎさ苑については、地域に管理運営を委託し、木戸交流センターについては、指定管理者制度において管理運営を行っている。各施設ともに、地域住民の交流を通じて地域コミュニティの醸成を図る場として、今後も適切に管理運営を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域住民が集い、交流する場として、今後も適切な管理運営を行うとともに、利用促進を図ることで地域コミュニティの醸成に繋げていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00620　交流（コミュニティ）施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)施設利用者数	人	5,300.00 5,481.00	5,300.00 5,514.00	5,670.00 0.00	5,670.00 0.00	5,670.00 0.00	5,670.00 0.00	5,670.00 0.00
	指標説明	延べ施設利用者数						
(活動)開館日数	日	570.00 665.00	570.00 650.00	630.00 0.00	630.00 0.00	630.00 0.00	630.00 0.00	630.00 0.00
	指標説明	延べ開館日数						
(成果)一日当たりの利用者数	人	9.00 8.24	9.00 8.48	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00	9.00 0.00
	指標説明	施設を利用した延べ数／延べ開館日数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0032
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西　健次
所属　1130　市民部自治協働課　記入者　森　勇人
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	004	つながりを大切にし、共に支え合うまちにします			
施策	010	地域コミュニティの維持・活性化			
取組の方向性	001	地域コミュニティの活性化の支援			
事務事業	008	自主運営試行事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立公民館における大津市コミュニティセンター自主運営試行事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 公民館をコミュニティセンター化し、地域による自主運営の実現に向けて、公民館において、コミュニティセンター自主運営試行事業を実施し、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会を提供する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化や世帯構成の変化、ライフスタイルの多様化等、社会環境の変化とともに、地域ではまちづくりの担い手不足や活動の継続が課題となる中、地域の実情に合わせたまちづくり活動が必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 自主運営試行事業において運営ノウハウを習得することで、コミュニティセンター移行後も適切な管理運営の実施につながるよう必要な支援を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	公民館管理・運営業務の一部を
目的（何のために）	地域によるコミュニティセンターの自主運営の実現に向け、地域で運営するための組織づくりや運営ノウハウの習得の機会の提供を目的に
手段（どのようなやり方で）	地域団体に委託することで
成果（どのような状態にするのか）	コミュニティセンターの自主運営のための組織づくりと運営ノウハウの習得を行い、コミュニティセンター化及び自主運営への移行を目指していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,059	3,810	2,999	3,057	3,057	3,057	3,057
事業費	1,781	890	999	1,057	1,057	1,057	1,057
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,781	890	999	1,057	1,057	1,057	1,057
人件費計	2,278	2,920	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
事務・技術（人）	0.21	0.31	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.16	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0032
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-25-35-21-00-04-00	自主運営試行事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公民館自主運営モデル事業参加数	学区	4.00 2.00	4.00 1.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
(成果)目標達成率	%	100.00 50.00	100.00 25.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	コミュニティセンター運営のノウハウを習得する機会となっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	将来的にコミュニティセンターの運営受託を目指す学区が活用			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	公民館業務について、地域が主体的にノウハウを学ぶことができる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域活動の活性化による協働のまちづくりの推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	多くの学区において、自主運営試行事業に取り組んだ後、公民館からコミュニティセンターへの移行とまちづくり協議会による管理運営の受託に進んでおり、今後も、組織づくりや運営ノウハウを習得できる機会として希望する学区が活用できるよう継続していく。 事業を実施している学区に対しては、事業の効果と今後の方向性について、個別に協議しながら取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	地域の希望に応じて、公民館からコミュニティセンターへ円滑に移行できるよう、組織づくりや管理運営のノウハウを学べる機会や情報共有の場を設けるとともに、必要な支援に取り組む。 また、事業を実施している学区と共に、実施内容を評価しながら今後の方向性を検討していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　03419　自主運営試行事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公民館自主運営モデル事業参加数	学区	4.00 2.00	4.00 1.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	公民館自主運営モデル事業の参加学区数						
(成果)目標達成率	%	100.00 50.00	100.00 25.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	公民館自主運営モデル事業の参加学区目標達成率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0033
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西　健次
所属　1130　市民部自治協働課　記入者　森　勇人
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	004	つながりを大切にし、共に支え合うまちにします			
施策	010	地域コミュニティの維持・活性化			
取組の方向性	001	地域コミュニティの活性化の支援			
事務事業	007	コミュニティーセンター管理運営事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市コミュニティセンター条例、大津市コミュニティセンター管理運営業務委託事業実施要綱				
事業概要	（事業概要） 地域の実情に合わせてコミュニティセンターを設置し、まちづくり協議会に運営を委託することにより、まちづくり活動の拠点としての機能を活かし、地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化や世帯構成の変化、ライフスタイルの多様化等により、地域ではまちづくりの担い手不足や活動の継続が課題となる中、地域の実情に合わせたまちづくり活動が必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進するため、公民館のコミュニティセンターへの移行については、地域と協議を重ねながら、地域の実情に合わせて進めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	コミュニティセンターの管理運営業務を
目的（何のために）	地域の多様な主体による協働のまちづくりを推進するために、
手段（どのようなやり方で）	まちづくり協議会に委託することで、
成果（どのような状態にするのか）	コミュニティセンターにまちづくりの担い手が集い様々な地域活動が活発に行われるなど、地域のまちづくりの活動拠点としての機能を活かし、多様な主体による協働のまちづくりを推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	124,598	128,612	130,244	153,114	153,114	153,114	153,114
事業費	96,618	97,960	101,186	124,056	124,056	124,056	124,056
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,278	6,523	5,857	5,857	5,857	5,857	5,857
一般財源	92,340	91,437	95,329	118,199	118,199	118,199	118,199
人件費計	27,980	30,652	29,058	29,058	29,058	29,058	29,058
事務・技術（人）	2.70	2.97	3.07	3.07	3.07	3.07	3.07
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
会計年度任用（人）	1.15	1.03	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0033
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-55-00-01-00	コミュニティセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	19.00 16.00	19.00 17.00	19.00 0.00	20.00 0.00	21.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
(成果)地域による自主運営実施数	学区	19.00 16.00	19.00 17.00	19.00 0.00	20.00 0.00	21.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	まちづくり協議会による運営で、地域の拠点として機能している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	担い手が集い活動することで、協働のまちづくりの推進に繋がる			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体を包括したまちづくり協議会が運営するため効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域活動の拠点として、協働のまちづくりの推進に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	地域の実情に応じて１７学区において、公民館からコミュニティセンターへ移行され、地域のまちづくり・地域交流の拠点として管理運営を行っている。コミュニティセンターについては、学区のまちづくり協議会が運営を担うことで、地域の多様な主体がつながり、地域の実情に応じたまちづくりや活動につなげていく。今後も、コミュニティセンターへの移行を検討する学区への支援等を行いながら、地域活動の拠点となるように取組を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	コミュニティセンターを活用し、地域のつながりや地域活動の活性化に向けた取り組みにつながるよう、まちづくり協議会とも意見交換をしながら事業を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1130　市民部自治協働課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04026　コミュニティーセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)コミュニティセンター設置数	学区	19.00 16.00	19.00 17.00	19.00 0.00	20.00 0.00	21.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
	指標説明	地域の実情に合わせた公民館のコミュニティセンター化実施学区数						
(成果)地域による自主運営実施数	学区	19.00 16.00	19.00 17.00	19.00 0.00	20.00 0.00	21.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
	指標説明	地域の主体的なまちづくり活動の拠点としての自主運営実施数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0034
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岡田　ふく子
所属　1168　市民部市民活動推進室　記入者　上田　善彦
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます			
施策	032	スマート自治体の推進			
取組の方向性	003	市政情報の発信			
事務事業	008	広聴及び市民相談事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 本市の市政及び事務事業に係る広聴活動や、市民の日常生活に関わるものも含めた相談業務（個別広聴）、「学区要望」（集団広聴）を実施している。また、相談業務では、一般相談や特別相談などの受動的相談と、大津市コールセンターＦＡＱ掲載やくらしのガイドブック発行などの能動的相談を実施している。特別相談では、市が介入することが出来ない市民の抱える諸問題の解決の一助として専門家への相談の機会を提供している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 集団広聴では収集できない市民の個別の要望や意見の受け皿が重要となっている。また、ライフスタイルが多様化する中、市民が抱える問題を解決するため専門家に相談する機会の確保が求められている. （見直しや改善等の経過） 令和２年度は、特別相談では、終活や相続の多様な相談の需要に応えるべく、司法書士による「相続手続相談」を開設した。令和３年度より、市民相談室やコールセンターなどに寄せられ、蓄積された「市民の声」を整理することで、「市民サービスの向上」や「職員負担の軽減」に繋がるよう努めた。また、学区要望では、迅速に回答するため、事務処理期間の短縮に努め、提出のあった全ての学区に対し、2ヶ月での回答を行った。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象に
目的（何のために）	市の施策に対する要望や意見を適確に事業に反映するため、また、市民の困りごとの解決の一助とし安心安全な市民生活に寄与するため、
手段（どのようなやり方で）	市民から寄せられる要望や意見等を迅速に担当部局に伝達するとともに、市民相談室とコールセンターでの応対履歴をデータベース化して蓄積し、必要とする部署へ提供する、また、弁護士、税理士、司法書士等の専門家による定期的な特別相談を開設することで、
成果（どのような状態にするのか）	市民からの意見等が適確に事業に反映され、市民の抱える問題の早期解決に繋がる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	29,319	32,465	18,121	18,121	18,121	18,121	18,121
事業費	7,259	6,525	6,701	6,701	6,701	6,701	6,701
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,259	6,525	6,701	6,701	6,701	6,701	6,701
人件費計	22,060	25,940	11,420	11,420	11,420	11,420	11,420
事務・技術（人）	1.70	2.28	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.20	1.75	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0034
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民活動推進室
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-01-00	広聴及び市民相談事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市民相談対応件数	件	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00	4,200.00
		4,012.00	3,778.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)特別相談（委託料分）利用率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		95.33	95.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が主体的に市政運営に関する広聴活動を実施するのは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	専門家への相談機会は市民が住みやすいまちづくりに有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	市民の声を事務事業に反映する仕組み運用で効率性を高める			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の抱える課題の早期解決を図り各施策実施に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	コールセンターや市民活動推進室へ寄せられた要望、意見を適確に所管所属に伝えるとともに、市民が抱える様々な問題の早期解決が図れるよう、専門家による相談機会を提供した。これらの広聴活動、相談業務を推進することで、市民ニーズに応じたより適切な市民サービスに努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ライフスタイルや価値観の多様化により、市民の意見や要望等も複雑化していることから、一つ一つに丁寧に耳を傾け、市民の立場に立って、担当課や関係機関につなぐなど、適切な相談業務を遂行する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民活動推進室
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01217　広聴及び市民相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市民相談対応件数	件	4,200.00 4,012.00	4,200.00 3,778.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00	4,200.00 0.00
	指標説明	一般相談＋特別相談						
(成果)特別相談（委託料分）利用率	%	90.00 95.33	90.00 95.66	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	年間利用件数／年間開設件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0035
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岡田　ふく子
所属　1168　市民部市民活動推進室　記入者　竹下　ゆか里
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	032　スマート自治体の推進				
取組の方向性	003　市政情報の発信				
事務事業	007　コールセンター管理運営事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 電話、ファクシミリ及び電子メールによる問合せ等を一元的に受け付け、より迅速で適切な電話対応及びスムーズな担当課への引継ぎを実現し、市民サービスの向上及び職員の負担軽減、また応対履歴の蓄積や事業者からの提案により事務事業の改善を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ライフスタイルや市民生活における情報ニーズが多様化する中、市の事業等に関する問合わせ等も多種多様である。このことから、市に対する電話等の最初の窓口として、柔軟かつ丁寧で均質に質の高いサービスが求められる。 （見直しや改善等の経過） 令和５年１０月より、公募型プロポーザルにより選定した受託者によって運営している。毎月、事業者との定例会で業務の報告を受け、改善を図るとともに、オペレーターのスキルアップや応対において見いだされた事業者からの改善提案、ＦＡＱの充実に取り組むことで、市民サービスの向上に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市に連絡をいただいた方に
目的(何のために)	市民サービスを的確に提供するため、また、行政事務の効率化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コールセンターを設置して代表電話やメールを一元的に受け付けて、ＦＡＱなどの行政情報により回答可能なものは回答完了し、回答不可能なものは業務所管課へ的確に転送することで
成果(どのような状態にするのか)	問合せ窓口のワンストップ化や、高い電話応対技術による標準化された回答により、市民サービスが向上する。 さらに、コールセンター回答率を高めることで、市の業務所管課の対応に係る負担が軽減する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	81,642	80,336	81,001	81,008	81,008	81,008	81,008
事業費	73,402	71,256	73,401	73,408	73,408	73,408	73,408
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,623	4,702	4,843	4,843	4,843	4,843	4,843
一般財源	68,779	66,554	68,558	68,565	68,565	68,565	68,565
人件費計	8,240	9,080	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
事務・技術（人）	0.80	0.86	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0035
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民活動推進室
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-60-54-00-02-00	コールセンター管理運営事業費	市民部自治協働課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)応答率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		93.20	92.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)着信しオペレーターが応答するまでの平均時間	秒	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		6.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)市民満足度総合評価（５点満点）	%（点）	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.96	4.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)コールセンター回答率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		96.50	98.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	専門事業者への委託で安定的に高品質な市民サービスが提供できる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	何れの評価指標も目標を大きく上回る成果をあげている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	応対品質向上とFAQ充実でサービス向上と事務効率化を図った			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民サービス向上と職員の負担軽減に寄与している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民からの電話やメール等による問い合わせを一元的に受け付け、迅速で丁寧な対応により、回答の完了及び担当課への引き継ぎを適切に実施し、市民サービス向上と職員の負担軽減に寄与している。また、オペレーターのスキルアップやＦＡＱの充実、問い合わせ内容を予測した情報収集を行うなど、サービスレベルの向上にも努めている。併せて、コールセンター従事者の声により、業務改善提案を行うことで、職員が気づきにくい業務の改善にも寄与している。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	コールセンターの応対品質向上を図り、応対履歴の蓄積等による事業者の提案も踏まえ、市民サービスの向上と職員の負担軽減を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1168　市民部市民活動推進室
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02581　コールセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)応答率	%	90.00 93.20	90.00 92.60	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	応答件数／着信件数						
(活動)着信しオペレーターが応答するまでの平均時間	秒	20.00 6.00	20.00 7.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	コールセンターが着信しオペレーターが応答するまでの平均時間（計算式　合計応答時間÷応答件数）						
(成果)市民満足度総合評価（５点満点）	%（点）	4.00 4.96	4.00 4.91	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	市民満足度総合評価（５点満点）の平均点数						
(成果)コールセンター回答率	%	90.00 96.50	90.00 98.90	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	市民からの依頼による転送を除きコールセンターで回答できた件数の割合						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0036
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井上　仁志
所属　1119　市民部文化振興課　記入者　加藤　高明
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　文化・芸術活動の推進				
取組の方向性	001　文化・芸術に親しむ環境づくり				
事務事業	001　市展・文化祭・写真展等事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化芸術基本法				
事業概要	（事業概要） 美術展覧会・写真展覧会並びに短歌・俳句大会、湖都の文学の発刊等、市民に日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、市民の主体的な文化活動を支援する。また、各学区の文化団体や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対して補助を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 美術展、写真展等への出品や文化祭への参加は高齢者が多く、次世代を担う若年層の文化活動への継続的な働きかけが求められている。 （見直しや改善等の経過） 美術展や写真展の出品数を増やすため、募集要項を定める会議を例年よりも１か月以上前倒しして実施し、作品の募集開始時期を早めている。また、若年層の参加促進を図るため、美術展や写真展のＵ―３０奨励賞を継続するとともに、ＳＮＳやメディアを活用した情報発信を行うことで、興味喚起に取り組んだ。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市展・写真展：県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者を対象に 文化祭：学区文化団体及び芸術文化団体を対象に
目的(何のために)	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活動を支援するために
手段(どのようなやり方で)	市展・写真展：公募により作品募集を行い入選作品を展示するとともに、優れた作品に対して賞を授与し 文化祭：地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,412	8,024	8,361	20,633	20,633	20,633	20,633
事業費	8,468	8,024	8,361	8,361	8,361	8,361	8,361
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	460	0	500	500	500	500
一般財源	8,468	7,564	8,361	7,861	7,861	7,861	7,861
人件費計	11,944	0	0	12,272	12,272	12,272	12,272
事務・技術（人）	1.08	0.00	0.00	0.94	0.94	0.94	0.94
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.88	0.00	0.00	1.08	1.08	1.08	1.08
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0036
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-03-00	市展・文化祭・写真展等事業費	市民部文化振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	11,700.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00
		8,653.00	10,788.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)補助金交付団体数	団体	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		43.00	41.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)出品数	点	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00	5,500.00
		4,567.00	6,039.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入場者数	人	16,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00	40,000.00
		40,040.00	41,764.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民・事業者・市の協働により実施しているため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	入場者数が増加したため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学区文化団体・芸術団体のノウハウや知見を活用しているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	活動の成果発表の場を提供し、市民の主体的な活動を支援している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	写真や動画を活用した「ミナエル minael ~大津市歴史文化情報集約サイト~」により、各事業の情報や市民の文化活動の情報を見やすく・わかりやすく伝えていく。 特に、若年層の文化芸術に対する興味関心を高め、出品・来場者数を増加させるため、大学等との連携やＳＮＳ等を活用した情報発信に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引き続き、多くの市民に日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図っていく。また、大学との連携、ＳＮＳの活用や他事業との連携による効果的な広報周知に努め、出品・来場者数の増加を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00766　市展・文化祭・写真展等事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)募集要項・ポスター配布数	枚	11,700.00 8,653.00	9,500.00 10,788.00	9,500.00 0.00	9,500.00 0.00	9,500.00 0.00	9,500.00 0.00	9,500.00 0.00
	指標説明	市展・写真展、文化祭に係る要項、ポスターの配布数						
(活動)補助金交付団体数	団体	50.00 43.00	50.00 41.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	文化祭開催に対する補助金交付団体数（芸術文化団体、地域文化団体）						
(成果)出品数	点	5,500.00 4,567.00	5,500.00 6,039.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00	5,500.00 0.00
	指標説明	市展・写真展・文化祭（短歌・俳句大会、湖都の文学）への出品数						
(成果)入場者数	人	16,000.00 40,040.00	40,000.00 41,764.00	40,000.00 0.00	40,000.00 0.00	40,000.00 0.00	40,000.00 0.00	40,000.00 0.00
	指標説明	市展・写真展・文化祭への入場者数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0037
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井上　仁志
所属　1119　市民部文化振興課　記入者　加藤　高明
事務事業番号　00778　文化振興事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　文化・芸術活動の推進				
取組の方向性	001　文化・芸術に親しむ環境づくり				
事務事業	007　文化振興事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化芸術基本法				
事業概要	（事業概要） 「大津市文化振興計画」に基づき、文化振興の推進を図るため、文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、親子で参加できる伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施し、身近な鑑賞機会を提供する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） スマートフォンやＳＮＳ等のツールの発展や価値観の多様化に伴い、人々の生活様式や社会構造も変化していることなどを背景に、働く世代や子ども・若者の文化活動への参加が減少してきている。こうした社会環境の変化に対応するため、幅広い年齢層を対象とする文化活動への支援やきっかけづくりが求められている。 （見直しや改善等の経過） 文化団体派遣事業を継続実施し、身近な鑑賞機会の提供に努めた。また、「伝統文化親子教室」では引き続き子どもの伝統文化への興味喚起を図っている。各事業の広報周知においては、ＳＮＳを活用し特に若年層への働きかけに取り組んだ。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民や文化団体等を対象に
目的（何のために）	文化活動を支援するために
手段（どのようなやり方で）	文化団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援及び賞の交付を行うとともに、伝統文化体験や、文化団体派遣事業を実施することで
成果（どのような状態にするのか）	自主的な文化活動が促進されるとともに、市民にとって身近な鑑賞機会が提供される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	15,727	4,576	35,759	74,266	74,266	74,266	74,266
事業費	3,963	4,576	35,759	45,850	45,850	45,850	45,850
国庫支出金	663	555	580	815	815	815	815
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	453	1,663	15,159	1,726	1,726	1,726	1,726
一般財源	2,847	2,358	20,020	43,309	43,309	43,309	43,309
人件費計	11,764	0	0	28,416	28,416	28,416	28,416
事務・技術（人）	1.18	0.00	0.00	2.32	2.32	2.32	2.32
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.64	0.00	0.00	2.24	2.24	2.24	2.24
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0037
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
事務事業番号　00778　文化振興事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-20-00-01-00	文化振興事業費	市民部文化振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)共催・補助事業数	事業	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		137.00	144.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	8,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00
		10,345.00	10,556.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	120,000.00	130,000.00	130,000.00	130,000.00	130,000.00	130,000.00	130,000.00
		133,325.00	176,210.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の文化芸術活動が活性化している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	文化活動団体の活動の場や市民の鑑賞の場を提供できている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	文化活動団体のノウハウを活用し事業を実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民が文化芸術に親しむ場を提供している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	文化団体派遣事業や伝統文化親子教室など、次世代を担う子どもや若者を含む多くの市民が身近に文化芸術に触れることができる環境づくりに取り組む。 また、令和７年度からは、市内の豊富な歴史文化資源を活用し、文学を軸としたシビックプライドの醸成やまちづくりを進める「文学のまちブランディング強化事業」の取組を進めており、令和７年度においては、本市に点在する歴史文化資源やそれらを背景とする地域の活動を調査・整理し、情報発信を進めてきたところである。 今後も、「文学のまち大津」の取組の認知向上のため、文学分野でのユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を目指していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	「第３次大津市文化振興計画」に基づき、次世代を担う子どもや若者を含む多くの市民が身近に文化芸術に触れることができる環境を充実させる。「文学のまち大津」ブランディング強化事業については、令和８年１２月のＵＣＣＮ加盟申請に向け、計画的に進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　　進捗区分　評価完了
所属　1119　市民部文化振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00778　文化振興事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)共催・補助事業数	事業	6.00 6.00	6.00 7.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	文化活動等に対する共催・補助事業数						
(活動)後援名義使用承認及び賞交付件数	件	150.00 137.00	150.00 144.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	後援名義の使用承認数（及び賞を交付した件数）						
(成果)共催・補助した文化活動（催し等）への参加者数	人	8,000.00 10,345.00	11,000.00 10,556.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00	11,000.00 0.00
	指標説明	補助した団体等が行っている文化活動（催し等）の参加者数						
(成果)後援した文化・芸術事業への参加者数	人	120,000.00 133,325.00	130,000.00 176,210.00	130,000.00 0.00	130,000.00 0.00	130,000.00 0.00	130,000.00 0.00	130,000.00 0.00
	指標説明	後援名義の使用を承認した催し等の入場者数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0038
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井上　仁志
所属　1125　市民部市民文化会館　記入者　高橋　大樹
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　文化・芸術活動の推進				
取組の方向性	001　文化・芸術に親しむ環境づくり				
事務事業	005　市民文化会館管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	市民文化会館の設置及び管理に関する条例				
事業概要	（事業概要） 市民が安全かつ快適に文化活動ができる場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、市民文化会館の管理運営を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民や団体による芸術文化活動（ダンス・書道・絵画等）などの自発的活動の場が求められている。 （見直しや改善等の経過） 物価高によるコストの増大のため、省エネなど節電対策を行い、支出を抑制するとともに、施設の適切な維持管理に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び各種文化団体・サークル等に
目的(何のために)	文化活動の場を提供するため
手段(どのようなやり方で)	安全かつ快適な環境で文化活動ができるように、施設の提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民の文化の拠点施設として、市民を中心とした文化振興活動をより活発にする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	32,947	31,142	31,064	31,290	31,290	31,290	31,290
事業費	15,287	13,154	13,076	13,302	13,302	13,302	13,302
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	2,466	0	0	0	0	0
その他	2,518	1,930	2,517	2,635	2,635	2,635	2,635
一般財源	12,769	8,758	10,559	10,667	10,667	10,667	10,667
人件費計	17,660	17,988	17,988	17,988	17,988	17,988	17,988
事務・技術（人）	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27	2.27
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0038
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1125　市民部市民文化会館
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-10-00	市民文化会館管理運営事業費	市民部市民文化会館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)貸室利用件数	件数	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
		843.00	875.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		93.66	97.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の自発的な文化活動を支える施設として利用されている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	貸室件数は前年より下回ったものの、例年と同程度の件数を維持。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	会計年度任用職員で日常の貸館事業等を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	文化活動の場として市民に対して提供している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度は、令和６年度より貸室利用件数は、増加したものの目標にはわずかに達しなかった。今後も引き続き多くの方々にご利用いただけるよう、利用しやすい施設環境を目指し、市民や各種団体の芸術文化活動に利用されるように努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民文化の向上及び発展のため、引き続き多くの方に会館を利用してもらえるように、施設の適切な維持管理と運営に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1125　市民部市民文化会館
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00773　市民文化会館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)貸室利用件数	件数	900.00 843.00	900.00 875.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	多目的ホール・会議室・和室の年間利用件数（延べ件数）						
(成果)貸室利用件数目標達成率	%	100.00 93.66	100.00 97.22	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	貸室利用件数（実績）÷貸室利用件数（目標）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0039
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　井口　敏行
所属　1126　市民部長等創作展示館　記入者　堀内　陽介
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　文化・芸術活動の推進				
取組の方向性	001　文化・芸術に親しむ環境づくり				
事務事業	003　長等創作展示館維持管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市創作展示館条例				
事業概要	（事業概要） 長等の豊かな自然と歴史文化の中で美術工芸作品を鑑賞及び創作する場を提供し、市民文化の向上及び発展に寄与するため、創作展示館を運営する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 来館者は比較的高齢者が多いため、幅広い世代の来館・利用に向けた取組が必要である。 （見直しや改善等の経過） 創作室においては活動中の絵手紙、水墨画、水彩画、陶芸の創作グループによる作品創作・展示及び合同作品展を開催し、展示室においては定期的に絵画の展示替えを行っているほか、他の文化施設等と連携することなどにより周知と誘客に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民等来館者を対象に
目的（何のために）	主体的に文化に触れ、学び、創作する場や機会を提供し、湖都文化の発展や理解推進に寄与するため
手段（どのようなやり方で）	作品展や絵画展等の企画展を随時開催するとともに、多様な広報や近隣施設等との連携を図り、市民等に美術工芸作品に関わる鑑賞及び創作する場や機会を提供することにより
成果（どのような状態にするのか）	市民等の心豊かで潤いのある生活、個性豊かで活力ある地域社会の創造を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	28,090	39,007	34,679	37,472	37,472	37,472	37,472
事業費	6,990	9,547	6,079	8,872	8,872	8,872	8,872
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	1,600	0	0	0	0
その他	1,885	2,163	1,999	2,000	2,000	2,000	2,000
一般財源	5,105	7,384	2,480	6,872	6,872	6,872	6,872
人件費計	21,100	29,460	28,600	28,600	28,600	28,600	28,600
事務・技術（人）	0.00	0.67	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
会計年度任用（人）	2.25	2.75	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0039
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1126　市民部長等創作展示館
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-01-00	長等創作展示館管理運営事業費	市民部長等創作展示館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)企画展等開催数	回	2.00	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)貸室使用件数	件	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00
		168.00	162.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入館者数	人	2,000.00	2,300.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		1,663.00	2,365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)貸室使用者数	人	3,000.00	3,200.00	3,400.00	3,400.00	3,400.00	3,400.00	3,400.00
		3,409.00	3,408.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が主体となり、美術作品の鑑賞や創作の機会が提供できている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	情報発信により来館者の増加に努め、市民文化の向上に寄与して			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	最小限の費用と人員により一定数の来館者を確保している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民に、文化芸術に親しめる環境を提供できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	開館３０周年を記念した企画展では、京都府所蔵の絵画を借用し、三橋節子画伯の絵画の奥深さを多くの人に堪能してもらえる機会となり、３０周年の節目にふさわしい展示を行うことが出来た。 今後も、多様な広報手段の活用、周辺の文化観光施設や社寺等との連携等により当施設の一層の周知啓発を図り、訪れる方々が心地よく感じられる親切・丁寧な応対により、是非また訪れてみたいと満足いただける施設運営に努める。 また、幅広い世代の来館、利用に向けて、子ども陶芸教室などの講座を開催し、市民文化の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ホームページやＳＮＳを活用して、幅広い地域・年齢層に情報を発信し、多くの市民等が文化に触れ、学び、創作する契機となるよう努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1126　市民部長等創作展示館
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00771　長等創作展示館維持管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)企画展等開催数	回	2.00 2.00	2.00 4.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	展示室での企画展開催数						
(活動)貸室使用件数	件	160.00 168.00	160.00 162.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00	160.00 0.00
	指標説明	創作スペースの使用件数						
(成果)入館者数	人	2,000.00 1,663.00	2,300.00 2,365.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	美術館への入館者数						
(成果)貸室使用者数	人	3,000.00 3,409.00	3,200.00 3,408.00	3,400.00 0.00	3,400.00 0.00	3,400.00 0.00	3,400.00 0.00	3,400.00 0.00
	指標説明	創作スペースの貸室使用者数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0040
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　衣田　耕二
所属　8821　市民部仰木太鼓会館　記入者　衣田　耕二
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	019　文化・芸術活動の推進				
取組の方向性	001　文化・芸術に親しむ環境づくり				
事務事業	009　仰木太鼓会館管理運営事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市仰木太鼓会館条例				
事業概要	（事業概要） 仰木太鼓会館は、大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域の歴史および文化の理解を深める場として設置されたもので、仰木太鼓の練習等に活用されるよう施設の適正な管理を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 時代の変遷により若者達から太鼓離れの様子が見られるなか、市指定無形民俗文化財である仰木太鼓を市の文化財として保存継承すべきとの気運が高い。 （見直しや改善等の経過） 仰木太鼓保存会に関する利用を優先しつつ、住民の福祉向上に寄与する利用など、会館利用の広報活動を行い、利用率の向上に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図る場を提供するために
手段(どのようなやり方で)	施設の適正な管理等、仰木太鼓の練習等のための場所を提供することで
成果(どのような状態にするのか)	大津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓が継承されるとともに、仰木地域の歴史及び文化への理解が深まり、市民文化が向上する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	4,835	7,182	7,471	7,471	5,552	5,552	5,552
事業費	2,475	5,142	5,431	5,431	3,512	3,512	3,512
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	65	53	70	70	70	70	70
一般財源	2,410	5,089	5,361	5,361	3,442	3,442	3,442
人件費計	2,360	2,040	2,040	2,040	2,040	2,040	2,040
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0040
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　8821　市民部仰木太鼓会館
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-57-30-00-20-00	仰木太鼓会館管理運営事業費	市民部仰木太鼓会館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)施設利用件数	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		114.00	157.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)施設利用人数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00
		5,292.00	3,817.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間利用件数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		76.00	104.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)年間利用人数率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		81.41	58.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	仰木太鼓を伝承する保存会が管理するのは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	保存会の活動により仰木太鼓の承継が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	保存会は仰木太鼓の保存と継承の知識経験を有している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域文化の拠点、地域住民のふれあいの場として機能している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を推進するため、仰木太鼓保存会との連携を図るとともに、地域における更なる利用促進に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	伝統文化の継承を担う仰木太鼓保存会との連携を維持し、地域住民の多様なニーズに応じた利用推進に努め、仰木太鼓に触れる機会を提供されるよう、施設の管理運営に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　8821　市民部仰木太鼓会館
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00775　仰木太鼓会館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)施設利用件数	件	150.00 114.00	150.00 157.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	年間利用件数（実績）						
(活動)施設利用人数	人	6,500.00 5,292.00	6,500.00 3,817.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00	6,500.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）						
(成果)年間利用件数率	%	100.00 76.00	100.00 104.66	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年間利用件数（実績）÷年間利用件数（目標）×１００						
(成果)年間利用人数率	%	100.00 81.41	100.00 58.72	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年間利用人数（実績）÷年間利用人数（目標）×１００						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0041
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中江　健二
所属　2406　市民部文化財保護課　記入者　中村　睦
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	016　歴史文化遺産の保存・活用				
取組の方向性	001　文化財の調査と保存				
事務事業	005　市内史跡等整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護法				
事業概要	市内に残された史跡を公有化し、保存する。また、史跡公園として整備し、一般に公開することにより、市民の史跡に対する理解を深め、地域のまちづくり等にも活用する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	本市には多くの国指定史跡があり、保存のため公有化が必要な面積も大きい。また、指定に至っていない重要な土地も残されており、発掘調査の結果、所有者の同意を得て、追加指定を進めていく。 市街化区域ですでに宅地化されているところもあり、計画的に公有化を進めていく必要がある。 限られた予算の範囲内で、優先順位をつけて公有化を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に残された史跡等を対象に
目的(何のために)	史跡等を良好な形で守り伝えていくため
手段(どのようなやり方で)	土地の公有化と整備を進めることで
成果(どのような状態にするのか)	史跡等を適切に保存し、次世代へ継承していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	58,550	106,912	108,925	104,802	107,439	99,116	159,442
事業費	49,176	97,242	97,495	95,522	97,759	90,276	150,602
国庫支出金	38,393	77,600	77,744	76,163	74,115	68,128	116,389
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	4,400	16,800	17,400	17,194	16,676	15,329	26,188
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,383	2,842	2,351	2,165	6,968	6,819	8,025
人件費計	9,374	9,670	11,430	9,280	9,680	8,840	8,840
事務・技術（人）	0.83	0.84	1.06	1.16	1.21	0.81	0.81
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	0.40	0.40
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0041
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-85-57-00-04-00	市内史跡等整備事業費	市民部文化財保護課
01-10-05-85-57-00-08-00	坂本城跡整備事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00	900.00
		288.00	3,385.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	63.00	64.00	65.00	66.00	66.00	66.00	66.00
		62.00	65.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国指定史跡の公有化は、史跡を適切に保存し、後世へ継承できる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	継続的に国指定史跡の公有化を進めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	土地所有者との交渉を進め、計画的に公有化を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	史跡を適切に保存し、次世代へ継承している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	計画的に公有化を図り、できるだけ早く史跡公園としての整備に着手できるよう努める。 また、公有化で一定のまとまりが確保できた土地については、適切に維持管理していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	市内に残された史跡等を適切に保存し、良好な形で次世代へ継承していくため、計画的に公有化を図る。また、 史跡の歴史的価値を発信するとともに、地域振興や教育などへの活用について引き続き検討する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00796　市内史跡等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)整備用地の公有化(史跡全体対象)	㎡	900.00 288.00	900.00 3,385.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00	900.00 0.00
	指標説明	当該年度の公有化予定地全体の公有化						
(成果)整備用地公有化進捗率（史跡全体対象）	%	63.00 62.00	64.00 65.00	65.00 0.00	66.00 0.00	66.00 0.00	66.00 0.00	66.00 0.00
	指標説明	史跡全体に占める公有化率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0042
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中江　健二
所属　2406　市民部文化財保護課　記入者　中村　睦
事務事業番号　04301　坂本城跡整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	016　歴史文化遺産の保存・活用				
取組の方向性	001　文化財の調査と保存				
事務事業	009　坂本城跡整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護法				
事業概要	令和７年９月１８日付け官報告示により国指定史跡となった坂本城跡の適切な保存（公有化）と活用を図り、歴史文化遺産を生かした歴史まちづくりを推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	令和５年度の発掘調査で坂本城跡の石垣と堀が発見されたことを契機として、貴重な歴史文化遺産である坂本城跡の適切な保全と活用を図るため、国史跡の指定にむけた取組を進めてきた結果、令和７年９月に国指定史跡となった。現在、保存活用計画の策定を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	坂本城跡を対象に
目的(何のために)	史跡等を良好な形で守り伝えていくため
手段(どのようなやり方で)	保存活用計画等にもとづき
成果(どのような状態にするのか)	坂本城跡を適切に保存し、次世代へ継承していく。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	177,461	20,573	23,470	23,070	23,070	23,070
事業費	0	170,661	12,493	15,390	15,390	15,390	15,390
国庫支出金	0	121,680	1,288	2,124	3,000	3,000	3,000
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	27,300	0	0	0	0	0
その他	0	11,344	1,289	0	0	0	0
一般財源	0	10,337	9,916	13,266	12,390	12,390	12,390
人件費計	0	6,800	8,080	8,080	7,680	7,680	7,680
事務・技術（人）	0.00	0.85	1.01	1.01	0.96	0.96	0.96
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0042
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
事務事業番号　04301　坂本城跡整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-85-57-00-08-00	坂本城跡整備事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)整備にむけた検討会議の開催数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	2.00 0.00	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)方針策定の件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	坂本城跡が国指定史跡となることで、適切な保存につながる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	国史跡に指定され、保存活用計画策定に向けて取組を進めている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	計画的に事業に着手し、坂本城跡への関心を高めた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	坂本城跡の魅力を発信し、次世代へ継承している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （４００文字）	令和５年度の発掘調査で坂本城跡の石垣と堀が発見されたことを契機として、貴重な歴史文化遺産である坂本城跡の適切な保全と活用を図るため、国史跡の指定にむけた取組を進め、令和７年９月に国指定史跡となった。 そのため、今後の適切な保存と活用を図るための保存活用計画策定にむけた準備を進めてきた。保存活用計画等の方針決定後は、史跡整備を計画的に進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （４００文字）	総合計画第３期実行計画の重点プロジェクトとして、注目度の高い坂本城跡が本市の有する多くの歴史文化遺産にいざなう起点となり、観光振興やまちづくり、教育など多面的に効果を発揮できるように、今後策定される保存活用計画などに基づき、適切な保存と活用に努める。 また、坂本城跡を地域の宝として守り、伝えていくという市民意識の醸成も引き続き図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2406　市民部文化財保護課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04301　坂本城跡整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)整備にむけた検討会議の開催数	回	0.00 0.00	0.00 0.00	2.00 0.00	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	整備にむけた検討会議の開催数						
(成果)方針策定の件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	方針策定の件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0043
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中江　健二
所属　2482　市民部埋蔵文化財調査センター　記入者　中村　睦
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	016　歴史文化遺産の保存・活用				
取組の方向性	001　文化財の調査と保存				
事務事業	008　埋蔵文化財調査センター管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財調査センター条例				
事業概要	文化財保護法の規定に基づき、市内で発掘調査により出土した埋蔵文化財を適切に保管するとともに、市民の埋蔵文化財への関心を高め、理解を深めるため、各種講座、現地見学会や展覧会を開催する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	宅地開発等に伴い埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、出土品は増え続けており、現地調査後の早急な整理と報告書の刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。 多くの市民に埋蔵文化財への理解や関心を深めてもらうため、関係施設へのイベント参加に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	埋蔵文化財及び市民を対象に
目的(何のために)	埋蔵文化財の適切な保管とともに、埋蔵文化財への理解を深めるために
手段(どのようなやり方で)	埋蔵文化財を適切に整理・収蔵するとともに、各種講座、現地見学会や展覧会を開催し
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民が当館を訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深める。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	28,379	29,010	32,060	31,505	31,505	29,363	69,625
事業費	6,607	6,564	7,060	8,865	8,865	8,865	49,127
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	337	301	361	361	361	361	361
一般財源	6,270	6,263	6,699	8,504	8,504	8,504	48,766
人件費計	21,772	22,446	25,000	22,640	22,640	20,498	20,498
事務・技術（人）	0.24	0.27	1.29	1.29	1.29	0.27	0.27
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.50	0.50	0.40	0.00	0.00	1.02	1.02
会計年度任用（人）	2.80	3.94	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0043
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2482　市民部埋蔵文化財調査センター
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-85-57-00-06-00	埋蔵文化財調査センター管理運営事業費	市民部文化財保護課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		18.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加・利用者数	人	1,700.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,494.00	1,855.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種講座の開催等を通じて、埋蔵文化財への理解を深めている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	変更の目標値は達成できなかったものの、目標値の９割は超えた。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	学芸員の専門性を活かした事業に取り組んでおり、効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	埋蔵文化財を適切に管理・保存して次世代に継承している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	埋蔵文化財発掘調査の出土品を適切に保管できるよう努める。 発掘調査後の迅速な整理、報告や公開を継続するとともに、歴史文化遺産の学習機会の充実を図り、出前講座や関係施設へのイベント参加を含め積極的に取り組むことで、多くの市民に文化財への理解を深めてもらう。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	より多くの市民が当センターを訪れて、埋蔵文化財への関心を高め、住んでいる地域に対する誇りや愛着が持てるよう理解を深める機会の拡充に努める。 なお、出土品保管場所拡充について検討する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2482　市民部埋蔵文化財調査センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00798　埋蔵文化財調査センター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)各種講座・展覧会等の開催件数	件	14.00 18.00	14.00 17.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	最新の調査成果の発表						
(成果)参加・利用者数	人	1,700.00 2,494.00	2,000.00 1,855.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	講座・現地見学会・展覧会等への参加・利用者数 ※新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことにより、令和７年度から新たな目標値を設定する。						
(成果)発掘調査報告書発刊数	冊	8.00 8.00	8.00 10.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	保存・活用の基礎となる発掘調査報告書の発刊数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0044
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　松田　直樹
所属　2405　市民部スポーツ課　記入者　渡邉　哲夫
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	018　スポーツの推進				
取組の方向性	001　スポーツ活動の推進				
事務事業	004　社会体育施設管理運営事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るため、市民プール・市民運動広場・市民体育館・格技場・乗馬場・キャンプ場・ランニングコース・オリエンテーリングコースを設置している。また地域でのスポーツ振興を図るため、市立小学校36校の体育館と運動場、市立中学校10校の体育館を学校教育の支障のない範囲で開放している。学校開放の運営にあたっては、各学校に「学校体育施設開放運営委員会」を設置し管理運営を委託している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 老朽化した施設が増える中、市の財政状況や公共施設マネジメント等を考慮し、利用者が安全安心に利用できるよう適正な維持管理が求められている。また、学校体育施設は地域の身近な体育施設として幅広い年代の市民から利用されており、スポ少等の地域団体だけではなくクラブチーム等の参加も増えている。 (見直しや改善等の経過) 社会体育施設の計画的な保全を図るため、令和4年度に長寿命化計画（市民体育館）を策定した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会体育施設の管理運営を対象に
目的(何のために)	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るために
手段(どのようなやり方で)	指定管理等施設に応じた最適な管理運営手法をとることで
成果(どのような状態にするのか)	市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができ、運動・スポーツ実施率の向上が図られ、健康の保持増進に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	265,352	269,460	279,775	290,457	290,457	290,457	290,457
事業費	245,742	242,100	248,815	258,617	258,617	258,617	258,617
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	63,972	66,075	67,876	67,876	67,876	67,876	67,876
一般財源	181,770	176,025	180,939	190,741	190,741	190,741	190,741
人件費計	19,610	27,360	30,960	31,840	31,840	31,840	31,840
事務・技術（人）	1.95	3.09	3.54	3.65	3.65	3.65	3.65
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.10	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0044
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-21-00-01-00	スポーツ施設管理運営事業費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
(活動)小・中学校開放校	校	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	384,000.00 355,067.00	352,000.00 354,265.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00
(成果) 学校体育施設運営業務の利用者数	人	816,000.00 675,609.00	658,000.00 659,812.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	社会体育施設を市民のスポーツ活動に提供するのは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	市民の身近なスポーツ等の実施機会向上に寄与している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者等に委託し、実情にあった効率的な運営がされている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	耐震化工事等で一部使用できない施設があったが、社会体育施設の利用人数は安定して推移しており、今後も公共施設マネジメントの視点を踏まえながら、計画的に必要な工事・改修を行い、スポーツの活動の場の提供につなげていく。 市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興及び健康の保持促進を図るため、引き続き、市民ニーズを把握して、施設の適切な維持管理・運営を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	社会体育施設については、施設の状況を踏まえるとともに、公共施設マネジメントの施設改修に関する対応方針に沿って、計画的な修繕・改修に努め、市民がより安全で安心して利用できる時代に即した環境を整えるとともに、より効率的かつ効果的な運営ができるよう事業実施手法を検討し、生涯スポーツの普及を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00840　社会体育施設管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動) 市民運動広場等の数	施設	36.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	運動広場、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の施設の数						
(活動)小・中学校開放校	校	46.00 46.00	46.00 46.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
	指標説明	小学校・中学校開放校数						
(成果) 市民運動広場等の利用人数	人	384,000.00 355,067.00	352,000.00 354,265.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00	352,000.00 0.00
	指標説明	運動広場、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の利用者数 【令和6年度実績値をベースに、体育館の耐震工事等による減員を加味し目標値を修正】						
(成果) 学校体育施設運営業務の利用者数	人	816,000.00 675,609.00	658,000.00 659,812.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00	658,000.00 0.00
	指標説明	小学校（運動場、体育館）、中学校（体育館）の利用者数 【令和6年度実績値をベースに、体育館の耐震工事等による減員を加味し目標値を修正】						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0045
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　松田　直樹
所属　2405　市民部スポーツ課　記入者　青木　健太郎
事務事業番号　04181　生涯スポーツ推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	018　スポーツの推進				
取組の方向性	001　スポーツ活動の推進				
事務事業	008　生涯スポーツ推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法、大津市スポーツ推進委員に関する規則				
事業概要	市民が、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができるよう、地域における指導やスポーツイベントの中心的な存在（コーディネーター）として活動する「大津市スポーツ推進委員」の育成を行うなど、地域や市民が生涯にわたって運動・スポーツに親しむための支援を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 例年の酷暑など、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、市民が安全に運動・スポーツ活動に取り組めるよう配慮するとともに、スポーツへの関心や機運の醸成を図りながら、スポーツ活動を支援していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） スポーツ推進委員は、各学区の体育団体のみならず、大学や各種スポーツ団体等の推薦に加え、一般市民からの公募を行うなど、幅広い分野から参画をいただいている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民が
目的(何のために)	年齢や性別、障害の有無に関わらず、生涯を通して、運動・スポーツ活動を行えるように
手段(どのようなやり方で)	地域スポーツの中核的な役割を担う「スポーツ推進委員」の育成や指導者向けの研修を行うなど、地域や市民の運動・スポーツ活動の支援を充実させることで
成果(どのような状態にするのか)	「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しめる環境をつくる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	7,948	7,945	9,201	9,114	9,093	9,119	9,218
事業費	5,252	5,289	6,289	6,334	6,313	6,339	6,438
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,252	5,289	6,289	6,334	6,313	6,339	6,438
人件費計	2,696	2,656	2,912	2,780	2,780	2,780	2,780
事務・技術（人）	0.32	0.31	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.05	0.04	0.08	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0045
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04181　生涯スポーツ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-11-00	生涯スポーツ推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)スポーツ推進委員　人数	人	46.00	46.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		44.00	44.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		11.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　参加者数	人	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,059.00	2,087.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)指導者研修会参加者数	人	115.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		43.00	113.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種団体への負担金の交付は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	有効であるが、今後、一部事業の見直しも必要である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体への負担金交付による事業の実施は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各種事業の実施が地域の活性化に効果的である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	市民が、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境をつくるためには、地域におけるスポーツ推進委員の活動は不可欠であり、今後より一層地域における生涯スポーツを推進するため、スポーツ推進委員等の資質向上に向けた指導者研修会の開催や、市民が体を動かすきっかけ作りに繋がる自主事業を拡充できるよう支援していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	生涯スポーツの推進に当たっては、市民に身近な立場で実技指導や助言を行うスポーツ推進委員が、地域スポーツ振興の担い手として重要な役割を果たしている。スポーツを取り巻く環境や市民ニーズの変化に対応するとともに、令和９年度のワールドマスターズゲームズ関西の開催も見据えながら、スポーツ推進委員との連携を図り、市民の生涯スポーツの普及に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04181　生涯スポーツ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)スポーツ推進委員　人数	人	46.00 44.00	46.00 44.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	大津市スポーツ推進委員の人数 （R8以降、地域スポーツ振興に即した委員構成への見直しのため目標値を変更）						
(活動)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　実施回数	回	12.00 11.00	12.00 10.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員協議会の主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催する主管事業の実施延べ回数						
(成果)スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業　参加者数	人	2,000.00 2,059.00	2,000.00 2,087.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員協議会の主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催する主管事業の参加者延べ人数						
(成果)指導者研修会参加者数	人	115.00 43.00	120.00 113.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	スポーツ推進委員等の資質向上が図れる研修会への参加延べ人数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0046
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　松田　直樹
所属　2405　市民部スポーツ課　記入者　青木　健太郎
事務事業番号　04182　次世代のスポーツ推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	018　スポーツの推進				
取組の方向性	003　子どもの運動能力の向上				
事務事業	009　次世代のスポーツ推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	幼児期の子どもに運動あそびなどを通じて、体力・運動能力の基礎づくりや運動の楽しさを知る機会を提供するとともに、小中学校の子どものスポーツ環境充実を図ることにより、子ども達がスポーツを楽しみ、たくましく成長できるよう支援を充実させる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） デジタル機器の普及等により、スマートフォンなどの画面を見る「スクリーンタイム」が増加しているほか、近年の気候変動の影響により、運動・スポーツの実施時間等が制限され、子どもの運動機会の減少が懸念されている。 （見直しや改善等の経過） 幼児期から楽しく体を動かす機会づくりの拡充や、ICTの活用等による時代に即した新たな運動・スポーツの取組みを行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子どもを対象に
目的(何のために)	大人になっても継続的に運動を続けることができるように
手段(どのようなやり方で)	幼少期における遊びを通した運動の機会の創出や、時代に即した新たな運動・スポーツの取組みを充実させることで
成果(どのような状態にするのか)	スポーツを楽しみ、たくましく成長できる環境を創出する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,709	8,648	34,514	9,124	8,804	8,484	8,484
事業費	4,857	5,788	31,254	5,944	5,944	5,944	5,944
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,857	5,788	31,254	5,944	5,944	5,944	5,944
人件費計	2,852	2,860	3,260	3,180	2,860	2,540	2,540
事務・技術（人）	0.34	0.33	0.38	0.37	0.33	0.29	0.29
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0046
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04182　次世代のスポーツ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-12-00	次世代のスポーツ推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)幼少期運動プログラム　実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)幼少期運動プログラム　満足度	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)スポーツデータリテラシー向上プログラム　実施クラス数	クラス	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		10.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)スポーツデータリテラシー向上プログラム　運動寄与率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		100.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	専門的な知見を有する事業者への委託は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子どもがスポーツを楽しめる環境の構築に繋がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	効果的ではあるが、事業を拡大する場合は手法の見直しが必要			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもの運動・スポーツ活動の推進に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	幼少期における運動・スポーツ活動に対する市民ニーズは高い状況にあることから、子どもたちがスポーツに親しみ、その楽しさを実感しながら継続的に取り組める運動あそび等の取組を拡大することで、次世代を担う子どもたちが心身ともにたくましく成長できるよう、支援の充実に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	市民の健康維持・向上を図るためには、幼少期の運動体験が、生涯にわたる運動習慣の定着につなげることが非常に重要である。引き続き、市民ニーズを踏まえながら、学校やスポーツ少年団等と連携し、子どもたちが運動・スポーツに親しみ、継続的な運動習慣につながる機会づくりに取り組む。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04182　次世代のスポーツ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)幼少期運動プログラム　実施回数	回	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	幼少期運動プログラムの実施回数 １日に複数回実施した場合は、各回を計上する。						
(成果)幼少期運動プログラム　満足度	%	80.00 100.00	80.00 100.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	幼少期運動プログラムの参加者数 参加者アンケートの結果を反映						
(活動)スポーツデータリテラシー向上プログラム　実施クラス数	クラス	10.00 10.00	10.00 13.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	スポーツデータリテラシー向上プログラムの実施クラス数 （R7以降のクラス拡充を見直したため目標値変更）						
(成果)スポーツデータリテラシー向上プログラム　運動寄与率	%	80.00 100.00	80.00 70.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	授業が運動の実施に寄与すると解答した割合　参加クラス（担任）へのアンケート結果を反映						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0047
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　松田　直樹
所属　2405　市民部スポーツ課　記入者　青木　健太郎
事務事業番号　04183　地域スポーツ活動推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	018　スポーツの推進				
取組の方向性	002　スポーツを支える人材の育成と支援				
事務事業	010　地域スポーツ活動推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	地域のスポーツ団体のスポーツ活動を支援するとともに、各種競技スポーツの活性化を図ることで、生涯スポーツや競技スポーツに取り組む人や団体が、スポーツにより取り組めるよう、地域でのスポーツ活動の支援を充実させる。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民の運動・スポーツに対するニーズが多様化する中、地域や各種団体によるスポーツ活動を支援するとともに、市民が継続的に運動・スポーツに取り組める環境づくりを推進していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 激励金交付要綱をはじめとした補助金等の定期的な見直しや、SNS等を活用した周知PRを行うなど、時代に即したかたちで事業を行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生涯スポーツや競技スポーツに取り組む人や団体を対象に
目的(何のために)	地域でのスポーツ事業の活性化や競技力向上及び競技者の拡大を図れるように
手段(どのようなやり方で)	地域のスポーツ団体への補助金交付や事業の共催、大会出場者への激励金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	スポーツにより取り組むことができる支援の充実を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	26,582	32,578	29,759	28,752	29,213	29,172	29,153
事業費	22,914	24,014	24,191	24,832	24,973	24,932	24,913
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	600	541	500	0	0	0	0
一般財源	22,314	23,473	23,691	24,832	24,973	24,932	24,913
人件費計	3,668	8,564	5,568	3,920	4,240	4,240	4,240
事務・技術（人）	0.26	0.79	0.41	0.27	0.31	0.31	0.31
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.41	0.51	0.52	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0047
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04183　地域スポーツ活動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-13-00	地域スポーツ活動推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)補助金交付対象団体　団体数	団体	39.00	39.00	39.00	39.00	39.00	39.00	39.00
		38.00	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)補助金交付対象団体　主催事業数	事業	288.00	288.00	288.00	288.00	288.00	288.00	288.00
		324.00	311.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)激励金　交付件数	件	110.00	115.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
		153.00	135.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大津市スポーツ賞　表彰者数	人（団体）	14.00	16.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		18.00	73.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域スポーツ団体や全国大会等の出場者への補助金等交付は妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	全国大会等の出場者が増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体への補助や競技者への激励金交付・表彰は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域スポーツの活性化が生涯スポーツと競技スポーツ推進に繋がる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機に、スポーツへの関心や機運が高まり、表彰対象となる選手・団体数も増加している。こうした機運を継続的な地域スポーツの振興につなげるとともに、競技スポーツの推進についても引き続き取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	令和７年度に開催された国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会により高まったスポーツへの機運を地域スポーツの振興につなげるため、学区体育団体等をはじめとした各種団体への継続的な支援を行うとともに、激励金の交付やスポーツ賞等の表彰を通じて競技スポーツの推進を図るなど、市民のスポーツ活動の活性化に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04183　地域スポーツ活動推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)補助金交付対象団体　団体数	団体	39.00 38.00	39.00 38.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00	39.00 0.00
	指標説明	市内36学区体育団体、スポーツ協会、レクリエーション協会、学区体育団体連絡協議会 （スポーツ少年団への補助金交付は別の事務事業で実施しているため計上しない）						
(成果)補助金交付対象団体　主催事業数	事業	288.00 324.00	288.00 311.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00	288.00 0.00
	指標説明	市内36学区体育団体、スポーツ協会、レクリエーション協会、学区体育団体連絡協議会の主催事業数 （スポーツ少年団への補助金交付は別の事務事業で実施しているため計上しない）						
(活動)激励金　交付件数	件	110.00 153.00	115.00 135.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
	指標説明	激励金を交付した件数						
(成果)大津市スポーツ賞　表彰者数	人（団体）	14.00 18.00	16.00 73.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	大津市スポーツ賞、スポーツ奨励賞、スポーツ特別賞の表彰者数（個人と団体の合算）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0048
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　松田　直樹
所属　2405　市民部スポーツ課　記入者　青木　健太郎
事務事業番号　04185　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	008　スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします				
施策	018　スポーツの推進				
取組の方向性	001　スポーツ活動の推進				
事務事業	012　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	スポーツ基本法				
事業概要	大津市の自然・歴史環境や、地域、大学、企業による特色あるスポーツ活動を活かした大津らしいスポーツの推進を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和７年度開催の国民スポ・障スポで高まったスポーツへの関心や機運を一過性のものとせず、令和９年度のワールドマスターズゲームズ関西の開催も見据え、市民の運動・スポーツ活動のさらなる推進につなげていく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 大津市の特色を活かしたスポーツを推進するとともに、令和９年度のワールドマスターズゲームズ関西の開催などを契機とし、各種団体や大学、企業等と連携しながら大津市らしいスポーツの取組の充実を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各種団体や大学、企業等を対象に
目的(何のために)	スポーツ大会やイベント等を開催するために
手段(どのようなやり方で)	負担金を交付することにより
成果(どのような状態にするのか)	本市の特色ある自然や歴史環境等を活かした、大津らしいスポーツの取組の充実を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,349	4,107	8,113	12,550	2,518	2,518	2,518
事業費	2,631	1,655	2,513	7,350	990	990	990
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	706	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,925	1,655	2,513	7,350	990	990	990
人件費計	3,718	2,452	5,600	5,200	1,528	1,528	1,528
事務・技術（人）	0.41	0.29	0.70	0.65	0.18	0.18	0.18
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.13	0.03	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0048
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
事務事業番号　04185　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-61-56-00-15-00	大津の特長を活かしたスポーツ推進費	市民部スポーツ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域等と連携した大規模スポーツイベント　件数	件	1.00	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)地域等と連携した大規模スポーツイベント　参加者数	人	5,000.00	8,000.00	8,000.00	10,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		8,281.00	8,707.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)負担金、補助金等交付イベント　件数	件	3.00	2.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)負担金、補助金等交付イベント　参加者数	人	2,500.00	2,000.00	1,000.00	3,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		2,785.00	2,367.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種団体への負担金の交付は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	有効であるが、今後、一部事業の見直しも必要である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種団体への負担金交付による事業の実施は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各種事業の実施が地域の活性化に効果的である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本市の特長を活かしたスポーツイベントを開催し、市民のスポーツに対する機運醸成を図るとともに、大津市の知名度向上やまちの賑わいづくりに引き続き努めていく。また、令和９年度のワールドマスターズゲームズ関西を見据え、今後も、社会情勢や市民ニーズ、事業の有効性等を踏まえ、必要に応じて事業の継続や見直しを検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	令和７年度の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会で高まったスポーツへの関心や機運を一過性のものとせず、市内で開催される令和９年度のワールドマスターズゲームズ関西も見据えながら、地域や大学、企業等と連携し、本市の特長を活かした事業について、引き続き検討していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2405　市民部スポーツ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04185　大津の特長を活かしたスポーツ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域等と連携した大規模スポーツイベント　件数	件	1.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	3.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	朝日レガッタ、びわ湖マラソン大会などの件数 （R7は国スポを対象外、R10、11はWMGの年度確定による見直し）						
(成果)地域等と連携した大規模スポーツイベント　参加者数	人	5,000.00 8,281.00	8,000.00 8,707.00	8,000.00 0.00	10,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
	指標説明	朝日レガッタ、びわ湖マラソン大会などの参加者数（観客、大会関係者は含まない） （R7は国スポを対象外、R8、9は実績、R10、11はWMGの年度確定による見直し）						
(活動)負担金、補助金等交付イベント　件数	件	3.00 3.00	2.00 2.00	1.00 0.00	2.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	交付している大会件数 （事業計画の見直しにのため目標値を変更）						
(成果)負担金、補助金等交付イベント　参加者数	人	2,500.00 2,785.00	2,000.00 2,367.00	1,000.00 0.00	3,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00	1,000.00 0.00
	指標説明	交付大会への参加者数 （事業計画の見直しにのため目標値を変更）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0049
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　多賀　尚幸
所属　1115　市民部戸籍住民課　記入者　辻尾　大樹
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	031　持続可能な行財政運営				
取組の方向性	002　公共施設マネジメントの推進				
事務事業	004　大津市営霊園管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市営霊園条例及び同施行規則				
事業概要	（事業概要） 平成６年４月に市営霊園を開設し、平成１９年１０月に全ての区画（９６７区画）の使用者が決定した。現在は維持管理及び返還に伴う空き区画の募集を行っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 当霊園は市内唯一の市営墓地である。近年の墓地に対する市民意識は多様化していることから、墓じまい等による年間数か所の空き区画が発生するが、再募集時には一定の申込みがあり、需要がある。 （見直しや改善等の経過） 墓地返還に伴う再募集については、平成３０年度までは年１回としていたが、平成３１年度は年２回、令和２年度は年３回、令和３～７年度は年２回実施し、空き区画数の状況により、募集回数の見直しを行ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	市内の墓地需要に対応するため
手段(どのようなやり方で)	１　使用者の公募（戸籍住民課及び市ホームページで募集要領の配布） ２　維持管理（年間：除草２回、清掃１０回、噴水清掃９回、剪定１回）施設修繕
成果(どのような状態にするのか)	空き区画の募集に伴う全区画利用、定期的な清掃、及び老朽化による施設の修繕により安心で快適な施設の維持管理が図られている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,197	12,634	12,485	11,947	11,947	11,947	11,947
事業費	9,517	6,034	6,985	7,147	7,147	7,147	7,147
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,635	5,922	6,420	6,350	6,350	6,350	6,350
一般財源	3,882	112	565	797	797	797	797
人件費計	4,680	6,600	5,500	4,800	4,800	4,800	4,800
事務・技術（人）	0.60	0.55	0.55	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0049
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-44-00-01-00	大津市営霊園等管理運営事業費	市民部戸籍住民課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)維持管理回数(除草・剪定・場内清掃・噴水清掃)	回	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
		22.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)募集回数(空き区画)	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)使用率　年間（３月末現在）	%	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00
		98.00	96.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民の公用墓地に対する需要は高く妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	年間を通じて使用率が９６%以上であり、高水準を維持している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	清掃・除草業務等を業者に委託し、適切に維持管理を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	空き区画の再募集を行うことで、施設の使用率向上に努めている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	墓地に対するニーズが多様化している中、市営墓地の使用率は高い水準で推移している。 引き続き、適正な施設の維持管理に努めていくとともに、空き区画の募集にあたっては、市ホームページのほか石材店にもＰＲを依頼し申込みに繋げていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	施設の適正な管理運営を続けるとともに、空き区画の募集についても効果的に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1115　市民部戸籍住民課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01208　大津市営霊園管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)維持管理回数(除草・剪定・場内清掃・噴水清掃)	回	22.00 22.00	22.00 22.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00	22.00 0.00
	指標説明	(年間実施回数)除草２回、剪定１回、場内清掃１０回、噴水清掃９回						
(活動)募集回数(空き区画)	回	1.00 2.00	1.00 2.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	返還に伴う空き区画募集（年１回）						
(成果)使用率　年間（３月末現在）	%	99.00 98.00	99.00 96.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00	99.00 0.00
	指標説明	使用区画数／全区画数(９６７区画)						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0050
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岸本　宏
所属　1113　市民部消費生活センター　記入者　伊賀　直樹
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	001　防犯活動の強化				
事務事業	001　消費者啓発事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費者教育の推進に関する法律等				
事業概要	（事業概要） 消費者が主体的かつ合理的に行動できるよう、消費者の自立を支援するための知識の普及や情報の提供等の啓発活動と消費者教育を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） デジタル化の進展に伴い商品流通形態が変容する中、消費に関する被害やトラブルは多様化・複雑化しており、市民が被害に遭わないようにするためには、さらなる啓発や教育に努める必要がある。 （見直しや改善等の経過） 成年年齢引下げを踏まえ、未成年者における消費者教育を充実させるため、令和４年10月に県教育委員会と本市の消費者教育における協力を定めた覚書を締結し、以降、高校生を対象とした講座を実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民の
目的（何のために）	消費生活の安定及び向上を図ることを目的に
手段（どのようなやり方で）	学校、地域、家庭その他様々な場を通じて消費生活に関する知識の普及、情報の提供等の教育啓発活動を推進するとともに、消費者の自主的な学習のための必要な支援を行うように努めることで
成果（どのような状態にするのか）	消費者が的確な価値判断能力及び適正な選択能力を有するようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	4,595	4,244	4,670	4,647	4,647	4,647	4,647
事業費	1,547	1,088	1,514	1,491	1,491	1,491	1,491
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	399	385	740	729	729	729	729
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,148	703	774	762	762	762	762
人件費計	3,048	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156
事務・技術（人）	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
会計年度任用（人）	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0050
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-03-00	消費者啓発事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	20.00 30.00	20.00 20.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	2,200.00 2,462.00	2,200.00 1,288.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消費者安全法及び消費者教育の推進に関する法律に基づくため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	講座内容が充実し、高い啓発効果が得られた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	世代にあわせた消費者啓発や教育ができている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	知識、情報の提供機会が十分に確保された			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消費者被害の未然防止を図るため、高齢者をはじめ幅広い世代に向けた消費者教育講座の開催や大津市公式LINE・ホームページでの注意喚起による情報提供・啓発を行う。また、成年年齢引下げに対応した県立高校での専門家講座や教員への消費者教育教材の提供と授業での活用支援、将来を見据えた小学生低学年への金銭教育ワークショップなど、多角的な消費者教育を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	消費者被害の防止に向け、高齢者をはじめ幅広い世代を対象とした講座等を実施するとともに、成年年齢の引下げを踏まえ、未成年の将来を見据えた金銭教育も継続的に取り組むこと。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00308　消費者啓発事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)消費生活講座及び出前講座等の回数	回	20.00 30.00	20.00 20.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	主催講座４回・地域出前等４回　高校講座１２回(市内県立高校１２校)						
(成果)消費生活講座及び出前講座等の参加人数	人	2,200.00 2,462.00	2,200.00 1,288.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00	2,200.00 0.00
	指標説明	講１００(２５人×４回)・出１００(２５人×４回)・高校２０００(一学年)　計２２００人						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0051
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岸本　宏
所属　1113　市民部消費生活センター　記入者　伊賀　直樹
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	001　防犯活動の強化				
事務事業	003　消費生活相談事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消費者基本法、消費者安全法、消費生活条例、消費生活センター条例				
事業概要	（事業概要） 消費に関する被害やトラブルの相談に国家資格である消費生活相談員の資格を有する職員があたる。相談内容は、助言、情報提供、あっせん又は専門機関の紹介等の方法で処理される。 また、相談内容は、相談員が全国消費生活ネットワーク・システムに入力（登録）することで、国、県、関係機関等とも情報連携がなされている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） デジタル化の進展に伴い商品流通形態が変容する中、消費に関する被害やトラブルは多様化・複雑化しており、消費者からのこれら相談に対応するためには、更なる相談体制の充実が求められる。 （見直しや改善等の経過） 相談員の員数を維持するとともに、相談員の研修機会の充実による知識・技術の向上、専門家の積極的な活用に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民の
目的（何のために）	消費生活の安定及び向上を図ることを目的に
手段（どのようなやり方で）	消費生活相談員による消費生活相談の事務を行うことで
成果（どのような状態にするのか）	消費者の権利が尊重されている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,990	31,305	30,901	29,154	29,154	29,154	29,154
事業費	1,560	4,514	4,110	2,363	2,363	2,363	2,363
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	599	2,176	1,884	839	839	839	839
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	961	2,338	2,226	1,524	1,524	1,524	1,524
人件費計	23,430	26,791	26,791	26,791	26,791	26,791	26,791
事務・技術（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用（人）	5.59	5.84	5.84	5.84	5.84	5.84	5.84
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0051
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-78-50-00-04-00	消費生活相談事業費	市民部消費生活センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		2,627.00	2,923.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		97.49	98.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消費者基本法等の法律に基づく相談体制のため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	常に目標値相当以上の消費者相談の解決ができている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	国家資格の消費生活相談員を配置し、解決にあたっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	消費者トラブル防止に向けて、相談体制が有効に機能している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	商品流通形態が変容する中、オンライン取引トラブルや悪質な定期購入商法など、多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、相談に対する高い問題解決率を維持・向上させるべく、消費生活相談員の配置体制を維持しつつ、最新の法改正やデジタル関連トラブル対応に関する研修等に積極的に参加させ、相談員の更なる資質向上を図る。また、困難事案に対応するために弁護士による法的助言や、複雑な事案における関係機関との連携強化など、支援を強化し、適切な相談対応に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	デジタル化の進展に伴う多様化・複雑化する消費生活相談に対応するため、消費生活相談員の配置体制を維持しつつ、弁護士などの専門家の活用や研修等を通じ、相談対応の質を高める知識・技術の更なる向上を図ること。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1113　市民部消費生活センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02064　消費生活相談事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)相談件数	件	2,500.00 2,627.00	2,500.00 2,923.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00	2,500.00 0.00
	指標説明	年間相談件数						
(成果)相談に対する問題解決した割合	%	95.00 97.49	95.00 98.63	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00	95.00 0.00
	指標説明	（助言（自主交渉）＋その他情報提供＋あっせん解決＋他機関紹介）÷相談件数×１００						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0052
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　木津　勝
所属　2451　市民部歴史博物館　記入者　高橋　大樹
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	016　歴史文化遺産の保存・活用				
取組の方向性	002　歴史文化遺産の活用と魅力発信				
事務事業	003　博物館管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	博物館法・大津市歴史博物館条例				
事業概要	（事業概要） 博物館の目的である各種資料の収集・保管・調査研究及び公開に係る諸事業を円滑に実施し、市民に快適な展示環境を提供することが管理運営事業の根幹である。そのため施設のメンテナンスやコンピュータの保守などを本事業で実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域や個人で守られてきた文化財の継承が困難となり、当館への寄託・寄贈の案件も増えてきている。文化財を安全に収蔵するためにも、また来館者が快適に観覧するためにも施設の維持管理が重要である。 （見直しや改善等の経過） 施設の経年劣化を避けるためにも、計画的な修繕が必要であり、予算の許す範囲で手を尽くしている。令和７年度は、熱源コントローラの更新業務、防火シャッター等の改修工事、クーリングタワーの改修工事を実施した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	博物館施設を
目的(何のために)	文化財が適切に収蔵・公開できる環境を整えるとともに、来館者に快適な環境で鑑賞と展示活動ができるように
手段(どのようなやり方で)	資料の保存を図りながら、適切な管理運営や適宜修繕等を行い
成果(どのような状態にするのか)	来館者が安全かつ快適に鑑賞できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	170,415	167,978	203,596	224,116	276,267	176,629	176,629
事業費	122,435	117,178	160,296	180,816	232,967	133,329	133,329
国庫支出金	11,082	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	5,300	0	46,300	35,600	0	0	0
その他	8,746	5,911	6,193	6,200	6,200	6,200	6,200
一般財源	97,307	111,267	107,803	139,016	226,767	127,129	127,129
人件費計	47,980	50,800	43,300	43,300	43,300	43,300	43,300
事務・技術（人）	3.10	3.00	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	4.50	4.75	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0052
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-86-50-00-01-00	博物館管理運営事業費	市民部歴史博物館

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)開館日数	日	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		286.50	302.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)企画展示室貸室件数	件	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00	38.00
		29.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)常設展示観覧者数	人	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00
		35,890.00	18,070.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00	39,000.00
		55,176.00	30,702.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	文化財を適切に収集保管し、適宜展示公開をする必要があるため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標値には達していないが、貸室件数は昨年同様である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	キャッシュレス決済導入により、会計事務を効率化できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大津の多様な歴史文化に親しむ場として提供している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度は、前年度の大河ドラマ関連展示が終了し平常に戻った。来館者数は目標に達しなかったが、これは常設展示観覧者数に連動する企画展の回数が少なかったことなどが要因だと思われる。また、貸館入場者数も催し物の数は変わらなかったものの、観覧者数が低下している（令和６年５５，１７６人→７年３０，７０２人）。今後はホームページやSNS等で情報を発信し、来館者増加に努めたい。大津の歴史情報の発信拠点として、集客のみを主眼にした展覧会のみを行うことが難しいが、社会情勢やニーズをとらえて市民の関心を高めていきたい。また、施設管理においては計画的に修繕等を行い、文化財の保管施設として適切に維持管理していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	来館者の方々が安全かつ快適に観覧できるよう、博物館施設の長期計画に基づき改修や修繕を進め、また歴史文化資料の収集や調査、適切な保存に努め、より多様な大津の歴史と文化の発信をすること。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2451　市民部歴史博物館
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00785　博物館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)開館日数	日	300.00 286.50	300.00 302.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00	300.00 0.00
	指標説明	博物館の開館日数						
(活動)企画展示室貸室件数	件	38.00 29.00	38.00 29.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00	38.00 0.00
	指標説明	企画展示室Ａ・Ｂの貸室の件数						
(成果)常設展示観覧者数	人	21,000.00 35,890.00	21,000.00 18,070.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00	21,000.00 0.00
	指標説明	常設展示室の年間観覧者数						
(成果)企画展示室貸室入場者数	人	39,000.00 55,176.00	39,000.00 30,702.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00	39,000.00 0.00
	指標説明	貸しギャラリーの観覧者数						